

新春特集

トラック運送業界とSDGs

エスディーズ

第2回

持続可能なトラック運送業界の実現を目指して

神奈川県トラック協会のSDGs推進への取り組み

「17色に彩られたマーク」あるいは「2024年問題へ向けた労働条件の改善の「ピンハッジ」などを狙うこと」とはありませんか。これは「SDGs（エスディーズ）カラーホール」と呼ばれるものです。このSDGsという文字も見る機会が増えているのではないのでしょうか。このSDGsとは「持続可能な開発目標」を示したものです。実は、このSDGsは、トラック運送事業者にとって無関係のものではなく、既に多くのトラック運送事業者も何かしら取り組んでいるものなのです（前号参照）。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や燃料価格の高騰などに影響された1年でした。加えて、

トラック事業者団体（協会）として何をすべきか

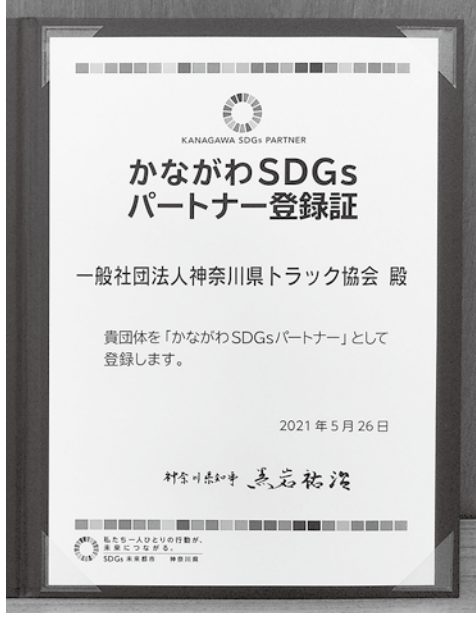
令和3年度から事業計画書とゴールをリンク 会長のトップダウンで取り組みスタート

神奈川県トラック協会 事業計画書では、基本方針は、令和3年6月開催の第48期通常総会から、議案書にこれまでにない表記方法を採用した。それは、施策項目について、各事業計画項目がSDGsの「17のゴールのうち、どのゴールの対象となる事業であるかを明示する」というものである。

これまで、トラック協会の事業計画書といえば、モノクロで、文章と数字のみで記載されるのが通じ、これに対して、神奈川県トラック協会の新しい事業計画書では、



神奈川県トラック協会は、令和3年5月、神奈川県が推進する「かながわSDGsパートナー」の登録を受け、登録証が交付された。



事業計画書には対象となるゴールのアイコンが表示された。17の目標（ゴール）のうち、それぞれの項目がどの目標の対象となるかを明示する。また、「交通安全事故防止対策」については、「開発目標3のみで記載されるのが通じ、これに対して、神奈川県トラック協会の新しい事業計画書では、

神奈川県「かながわSDGsパートナー」に登録 所管委員会を決定、県庁の担当者も勉強会

会長の下命を拝する。開発目標で、2016年から2030年までの国際目標であり、日本も採択している。SDGsは「SDGsとは何か」から自主的な取り組みを促進するための目標、概念であり、国家や自治体、企業、個人など様々な主体で取り組むことができる。取り組むためには、特に認証機関等があるわけではなく、神奈川県庁が「かながわSDGsパートナー」を運営している。同時に、同制度への早期登録を目指したが、コロナ禍により2年度は公募が行われず、ようやく3年度、神奈川県が同制度の第5期の公募を開始したことから、神奈川県協

神奈川県は、平成30年6月に「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定されて以来、県を挙げてSDGsの推進に取り組んでいる。その中で、SDGsの推進に資する事業を展開している企業・団体等の取り組み事例を県が募集・登録・発信するとともに、県と企業・団体等が連携してSDGsの普及促進活動に取り組むための認証制度として、「かながわSDGsパートナー」を実施している。

同制度では、SDGs推進に資する事業を展開している県内企業等が県に応募。県がSDGs推進の目的、取り組みの内容等を審査した上で、「かながわSDGs推進への取組」を模索する。SDGsの推進は必要の目標の対象となるのか、取り組みを開始したかどうか、吉田修一会長の「SDGsは、全く別の業界や別の世界にしか関係しないものではなく、トラック運送業界にも関係するものである」ということを、会員事業者の皆様や一般に広く周知すること、会長が令和元年に同市の協がSDGs推進への取組

トラック協会とSDGsの関わり方を模索

「当初は手探りの取り組みでしたが、検討を重ねるうちに、トラック協会自体が元々公共性の高い事業を展開していること、また、現在実施中の事業の多くがSDGsに対応していることが分かりました。さらに、将来的に会員事業者の皆様にも推奨していく立場になりますから、『まずは事業者団体として、率先して登録を受けよう』という考えもありました。登録にあたっては、『新たな事業を創設する』というよりは、現在実施している事業がどの目標の対象となるのかを見極めるような作業が中心でした。県の担当者と相談させていただくことも多かったのですが、事業計画の項目とどの目標が合致するのかについては、正確な答えを導くのが難しいというのが正直なところでした。事業計画と目標が対応するのは基本ですが、それよりも、『推進している』『取り組んでいる』という姿勢を発信することを重視しました（飯島知徳事業部長）。

ISUZU

クラスNo.1
キャブ室内高1870mm※2

クラスNo.1
収納容量 176ℓ※1



ドイツ イスリングハウゼン社の高機能シートや広々とした室内空間で、新型ギガはより快適な労働環境を目指します。



もっと走れる明日のために。
NEW GIGA



クラスNo.1
運転席シート調整機能数※1

クラス唯一
ベンチレーション機能搭載※1

快適で疲れにくい運転のために
ショルダー調整機能やベンチレーション機能を備えた高機能シート



動画公開中!

世界品質のシートを、
クラスNo.1のキャブに。

つかれない車を目指して。

※1: 2022年1月現在、いすゞ調べ
※2: 国内大型トラックハイローフ車室内高（コンソール取付フロアマット上面～ヘッドライニング）（2022年1月現在、いすゞ調べ）

表 ホームページ上に公開されている神奈川県トラック協会のSDGsの取り組み

取り組み事例名		対象となる目標	取り組みの内容(事例)
経営基盤の確立	国及び高速道路会社への要望	9・11	高速道路通行料金の大口・多頻度割引50%の堅持等及び車両制限令違反等措置に対する要望
	SDGs取り組みに係る周知	17	神奈川県と連携しSDGsへの取り組みの周知
	経営者等対象の研修会開催	4	運送業界の経営改善を進めるための研修会開催
	IT活用の推進	8	AI技術等を活用した物流効率化等の推進
働き方改革への対応	経営基盤の安定化推進	8	適正運賃・料金収受のための諸対策の促進 標準的な運賃の告示内容周知
	働き方改革の推進	5・8	働き方改革関連法等についての周知徹底 働き方改革の取り組みを全ト協との連携
交通安全事故防止対策	死亡事故件数の削減	3	「総合安全プラン2020」基本目標達成のための諸施策の推進
	交通安全教育の強化	4	運転者に対する交通安全教育強化を図るための諸事業の推進
	交通事故防止の推進	4	「安全機器等(ドラレコ・デジタコ等)」の普及・促進
	飲酒運転根絶・重大事故防止対策の推進	3・11	飲酒運転根絶や悪質違反撲滅のため運転者の安全意識等の向上、重大事故に起因する交差点事故等の事故防止対策の推進
	健康起因に係る事故防止	3	健康診断受診率向上等に寄与する「集団健康診断」等の施策展開
	一般県民等に交通安全啓発	4	トラックを使用した「交通安全教室」等の実施
人材確保対策	労働力の確保育成	4・5・8・11	業務用免許取得に対する助成 パソコン教室及び各種研修会開催
	若年層向け労働力確保対策	4・5・8	「物流出前授業」及びコンソーシアム活動実施 YouTube動画配信による啓発活動
	中高年層向け労働力確保対策	4・5・8・11	ハローワークと連携した「貨物自動車運転手合同面接会」開催、求職者向け「運輸業セミナー」等の実施
適正化事業対策	適正化事業推進	4・11	各種関係法令の周知、指導内容の充実強化 適正化情報管理システム有効活用
	巡回指導評価の向上	4・11	「フォローアップ研修会」開催等
	コンプライアンス実務の再確認	4	「初任運行管理者向け実務研修会」開催 相談窓口の開設や出張相談の活用促進
	関係法令等の遵守徹底	4	「物流セミナー」、「適正化研修会」等の開催 「運輸安全マネジメント」の取り組み推進
環境対策	環境対応車の導入促進	7・9・11・13	環境対応車の導入促進並びに助成事業等実施
	環境改善対策推進	7・9・11・13	「新・環境基本行動計画」の省エネルギー・環境改善対策推進、グリーン経営認証制度の普及拡大
	エコドライブの普及促進	7・11・13	「エコドライブ講習会」、「日常点検講習」の開催 エコドライブ活動を推進する人材の育成
	環境対策の周知	7・11・13	一般県民等々に環境対策を周知する研修会、セミナー等の開催
災害対策の推進	緊急物資輸送	11・17	各自治体との救援物資輸送協定の緊急物資輸送体制の充実強化
会員サービスの充実	会員サービス充実強化、加入促進	17	各ブロックと連携の上、会員事業者への各種事業の周知の強化、加入促進
広報の充実強化	業界のPR活動	3・4	トラックの日(10月9日)を中心としたPR活動の実施
	交通安全の普及啓発	3・4	新入学児童等に対し、ランドセルカバーを贈呈する等の交通安全普及啓発
公益目的支出計画の検証	公益目的支出計画の検証・報告	3・11・13・17	一般社団法人の組織運営を推進するため公益目的支出計画(交通安全・環境・防災対策)の検証・報告



全国・地元一般紙へ神奈川県ト協のSDGsへの取り組みをPRする広告を掲載した



「現在、神奈川県ト協の職員は、名刺にSDGsのロゴを刷りこみ、また、襟には「カラーホイール」のバッジを付ける。踏まえて、一層内外への

「『かながわSDGsパートナー』の登録を受けた後、コロナ禍により、SDGsが策定されたその背景や目的、特徴などを解説するとともに、SDGs「17のゴール」と、それに関連する169のターゲット(二部抜粋)を丁寧に解説するもの。また、トラック運送事業者としてSDGsに取り組み意義なども説き、神奈川県内の各自治

「『かながわSDGsパートナー』の登録を受けた後、コロナ禍により、SDGsが策定されたその背景や目的、特徴などを解説するとともに、SDGs「17のゴール」と、それに関連する169のターゲット(二部抜粋)を丁寧に解説するもの。また、トラック運送事業者としてSDGsに取り組み意義なども説き、神奈川県内の各自治

一方、「かながわSDGsパートナー」では、会員事業者への周知の他にも、一般消費者に対して「神奈川県トラック協会」のSDGsを推進している」という内容のPR活動を行うことを求めている。このため、神奈川県ト協では、会員向けにSDGs推進の取り組みについて周知するリー

「『かながわSDGsパートナー』に登録されると、県が登録パートナー(登録事業者・団体)を、対外的に広報してくれるほか、パートナー同士のマッチング支援や県の中

神奈川県ト協では、登録後に、神奈川県ト協のHPにSDGsのバナーを作成して、神奈川県ト協がSDGsを推進して

「普及促進セミナー」を開催、HPでも公開

体で行っている認証制度などの情報も提供した。同セミナーの受講者からは、「SDGsのことがよく分かった」、「参考になった」など好評で、神奈川県ト協では、セミナー時に使用した資料を協会のHPに掲載して、誰でも閲覧可能な状態にしている。

「『かながわSDGsパートナー』の登録を受けた後、コロナ禍により、SDGsが策定されたその背景や目的、特徴などを解説するとともに、SDGs「17のゴール」と、それに関連する169のターゲット(二部抜粋)を丁寧に解説するもの。また、トラック運送事業者としてSDGsに取り組み意義なども説き、神奈川県内の各自治

「『かながわSDGsパートナー』に登録されると、県が登録パートナー(登録事業者・団体)を、対外的に広報してくれるほか、パートナー同士のマッチング支援や県の中



日々のタイヤの状況は
デジタルで管理する時代へ

tirematics®

タイヤの内圧を遠隔モニタリング

お客様の運行前点検業務の精度向上と工数削減をサポート。

早期異常検知によるタイヤトラブルの未然防止で、
安全運行とダウンタイム削減にも貢献します。

株式会社ブリヂストン
【お客様相談室】フリーダイヤル 0120-39-2936
受付時間 月～金(土日祝日および指定休日は除く)9:00～17:00
<https://tire.bridgestone.co.jp>



Solutions for your journey